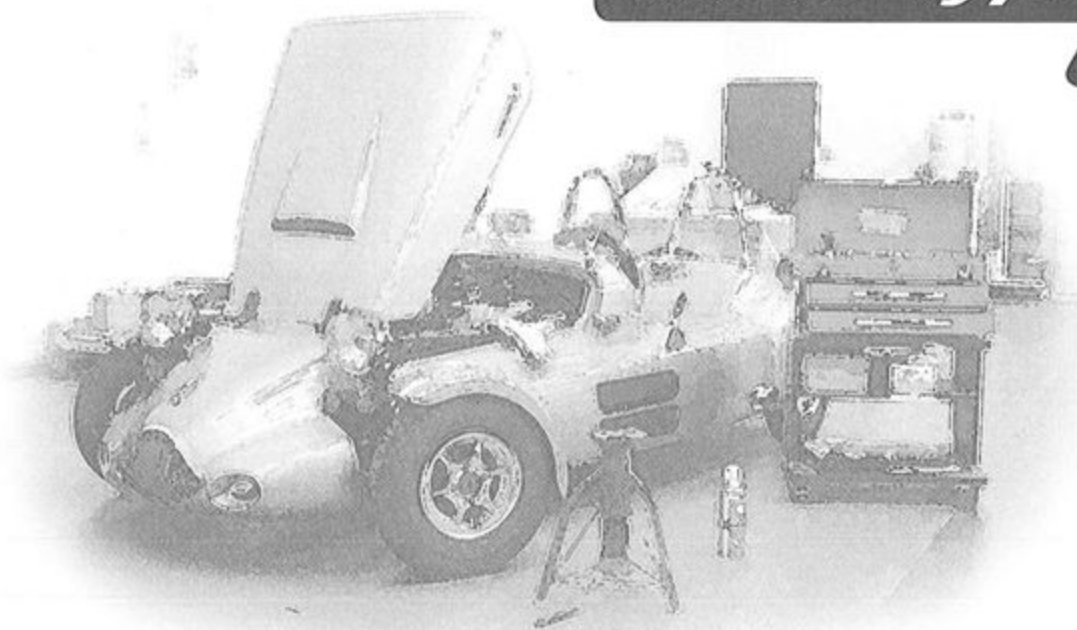


**MITSUOKA K-3**

**MITSUOKA**

*Micro Type*



取扱説明書 (MC1 追補版)

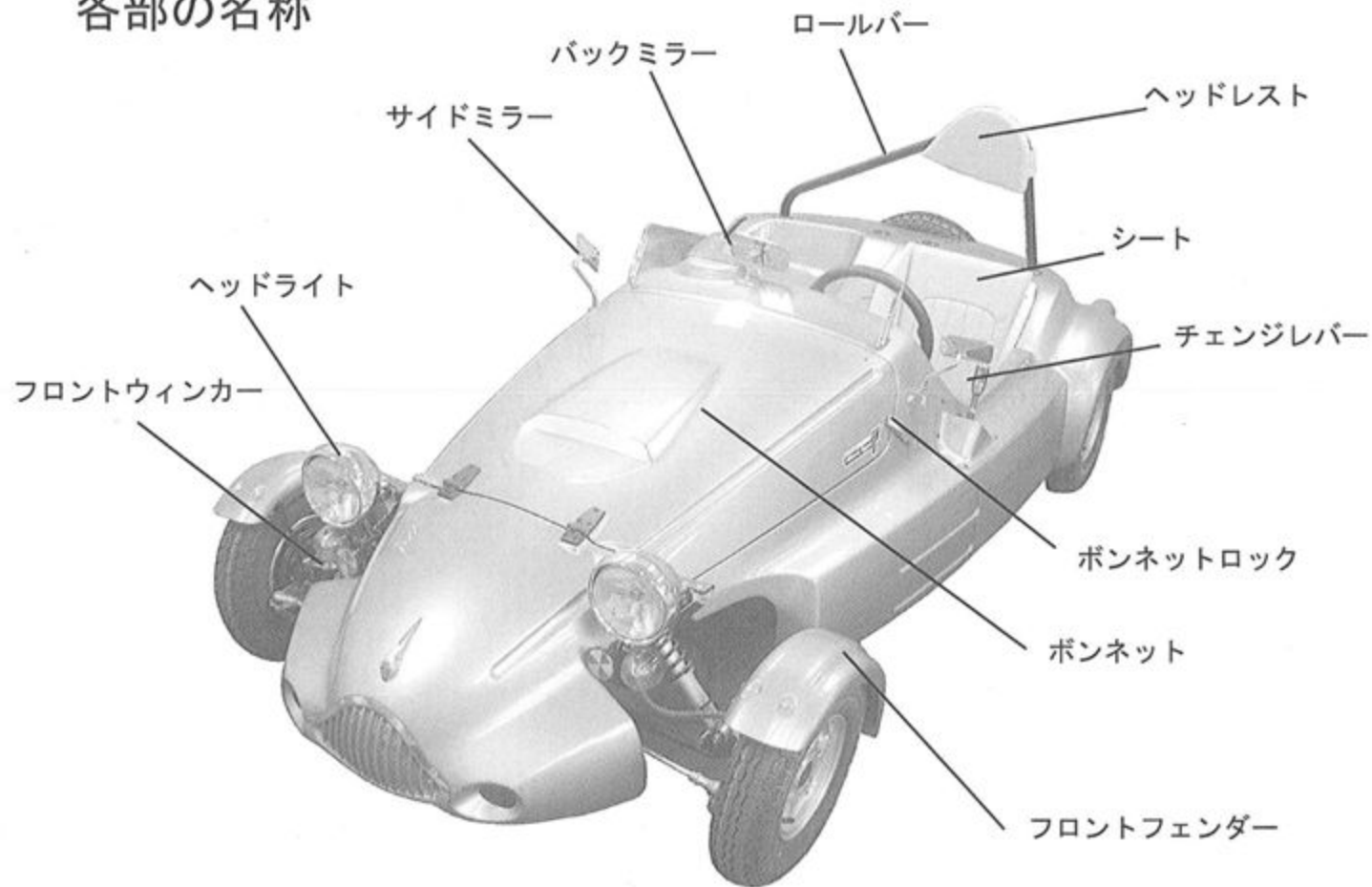
## 本書について

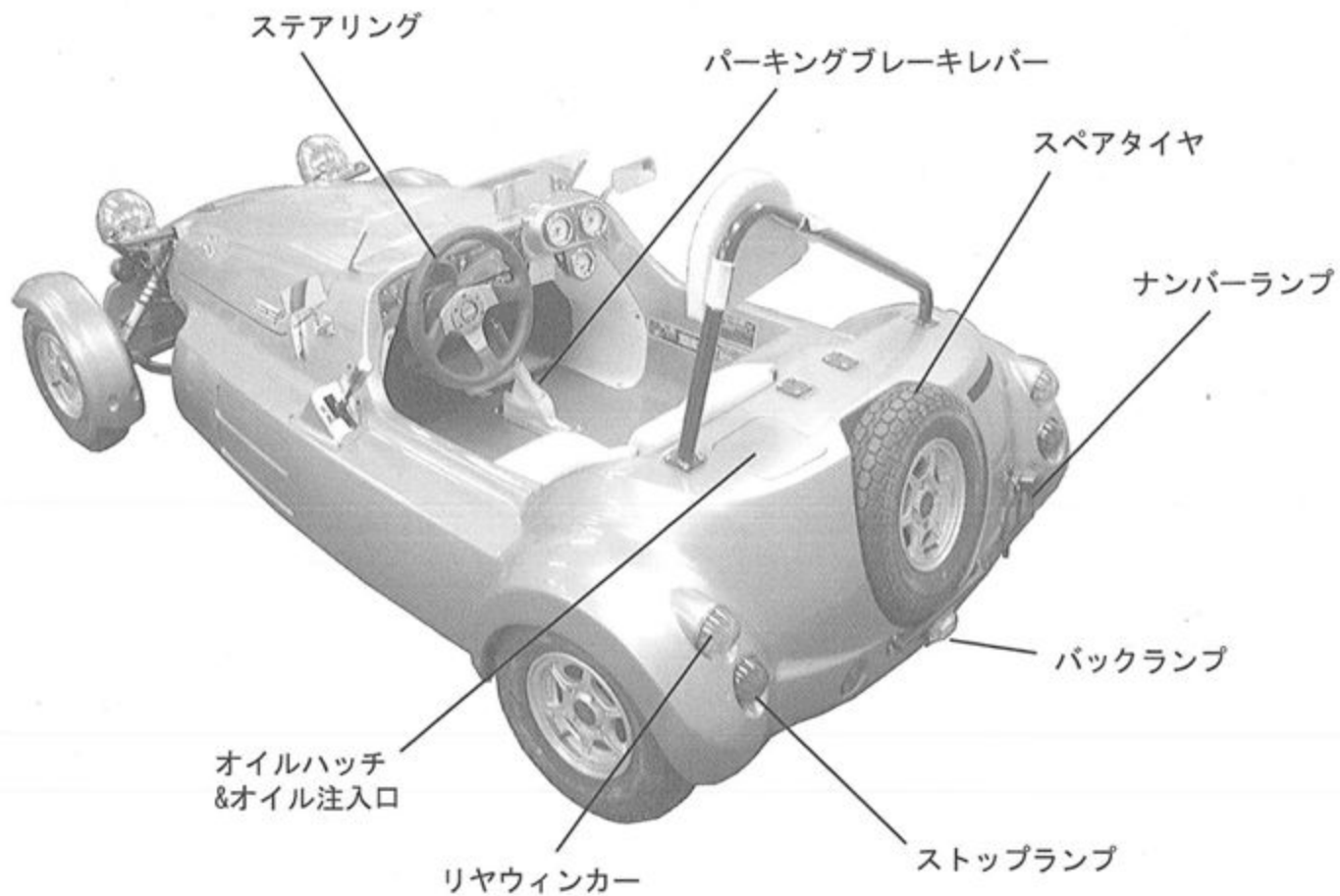
この度は弊社製品「マイクロタイプF」および「K-3」をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。  
本車両をお取扱い頂く上で、基本的なサービスデータや、メンテナンス方法はMC-1のものと同様  
ですが、燃料タンク、リザーバタンク等補機類の配置が違っております。それらの相違点をご説明す  
るための物ですので、このような追補版形式とさせて頂きました。

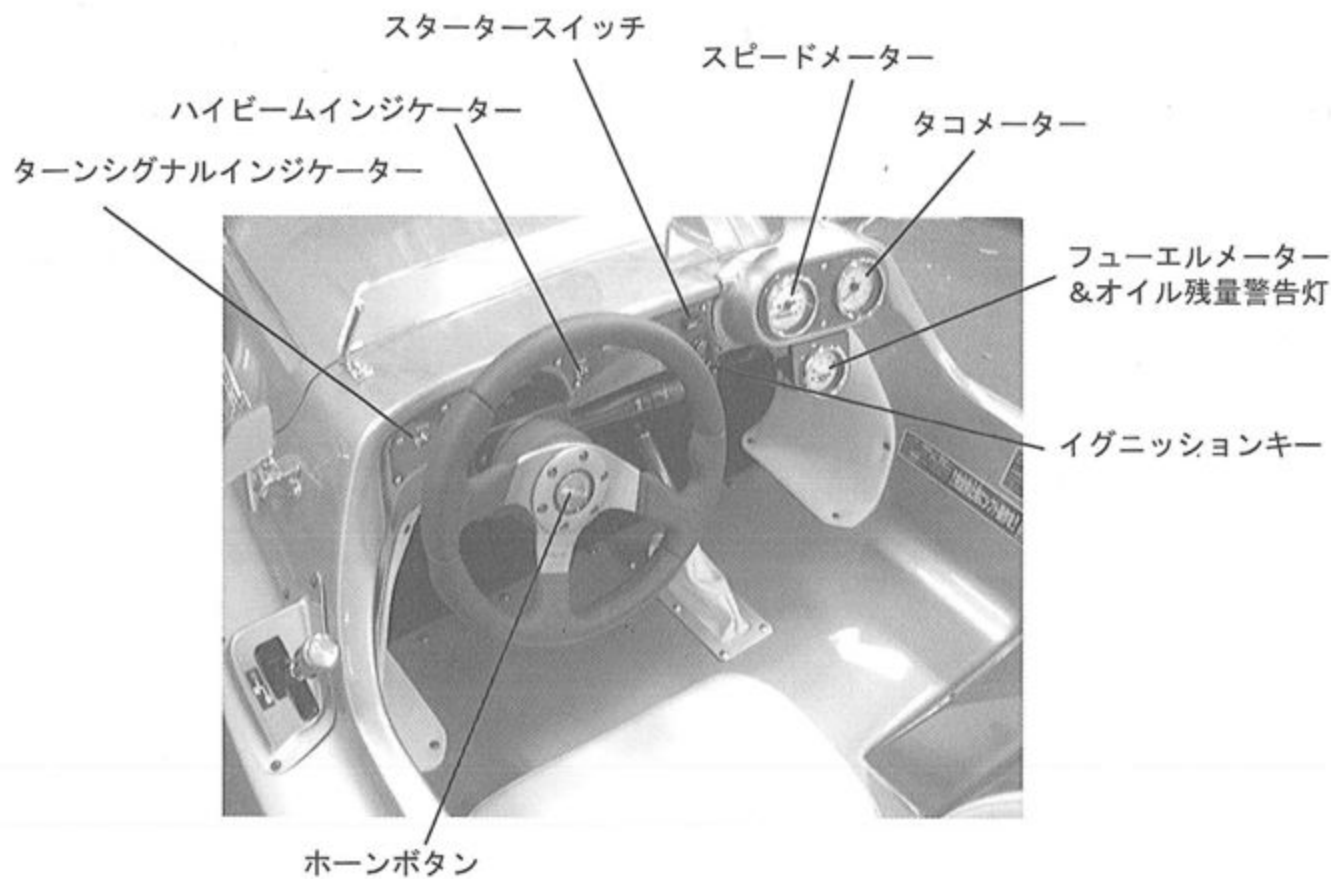
何卒ご理解頂けますよう、宜しくお願いいたします。

2005年 10月

## 各部の名称







## 各ハッチ類の開け方について

オイルハッチ

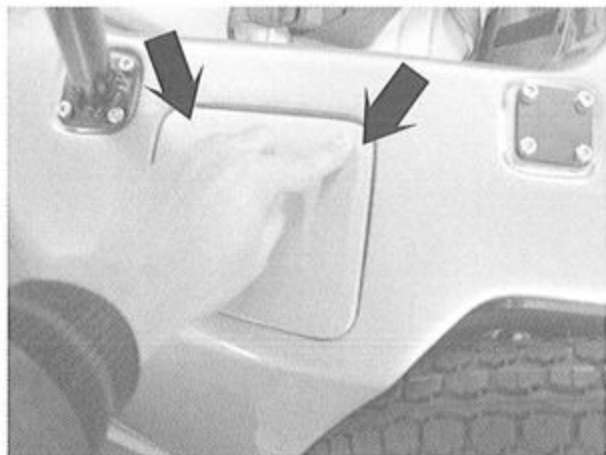
エンジンメンテナンスハッチ

キャブレターメンテナンスハッチ

リヤメンテナンスハッチ

ボンネット

## ●オイルハッチの開け方



1. 左図の→部分を強く押し、若干後ろに引き  
ます。

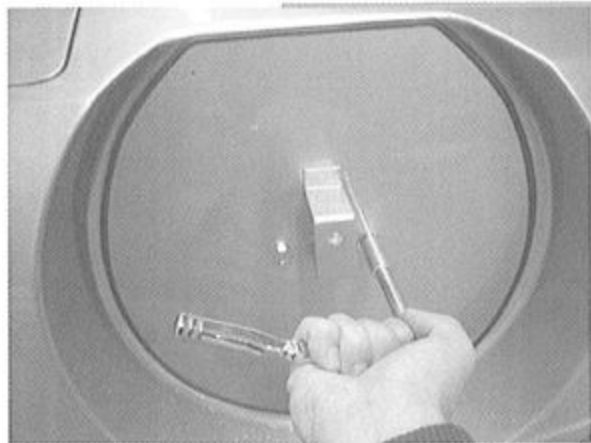


2. 後ろの部分が少し浮いたら、図のように端を  
持ち上げます。マジックテープで取り付いて  
いますので、そのまま持ち上げて取ります。

## ●リヤメンテナンスハッチの開け方

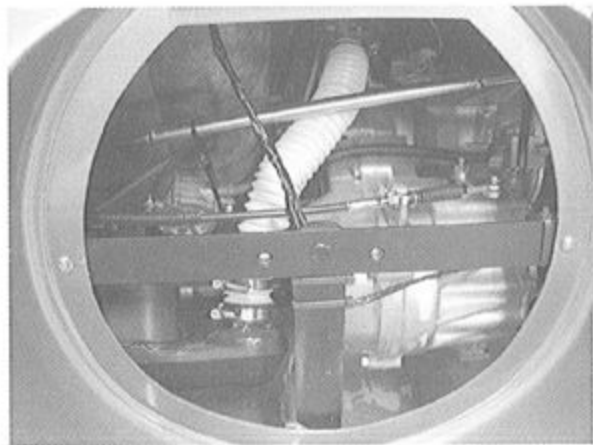


1. 左図の→部分のボルトを外し、スペアタイヤを外します。



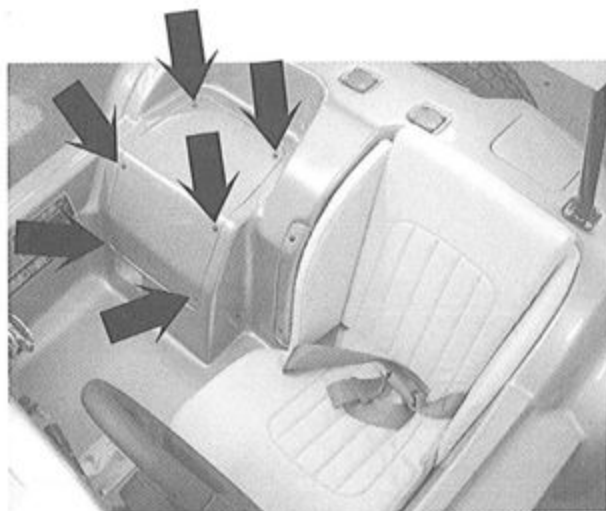
2. 次に、ハッチを固定しているボルトを2本、取外します。





2. すると、ハッチが外れます。このような状態となります。

## ●エンジンメンテナンスハッチの開け方



1. 左図の→部分のビスを全て外し、ハッチを取外します。

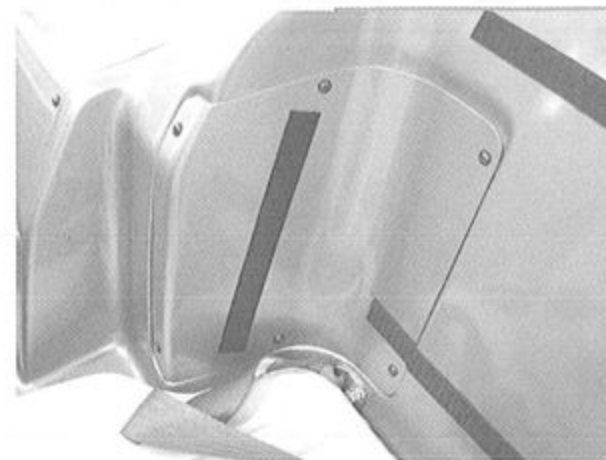
## ●キャブレターメンテナンスハッチの開け方



1. 左図のように、シートバックを取外します。

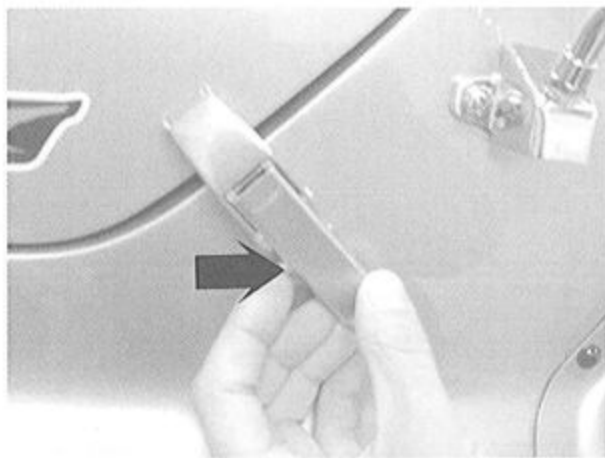


1. 次に、右側シートサイドパッドを取外します。

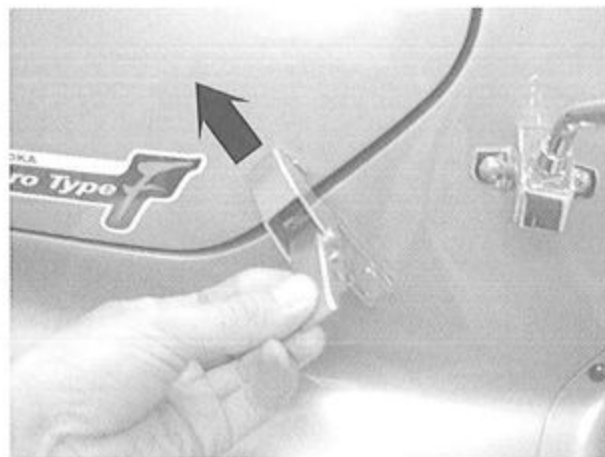


1. メンテナンスハッチが見えますので、エンジンハッチと同じように、ビスを全部外して、ハッチを取外します。

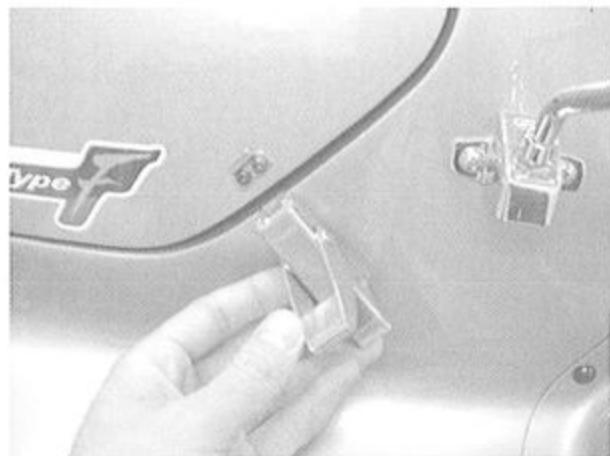
## ●ボンネットの開け方



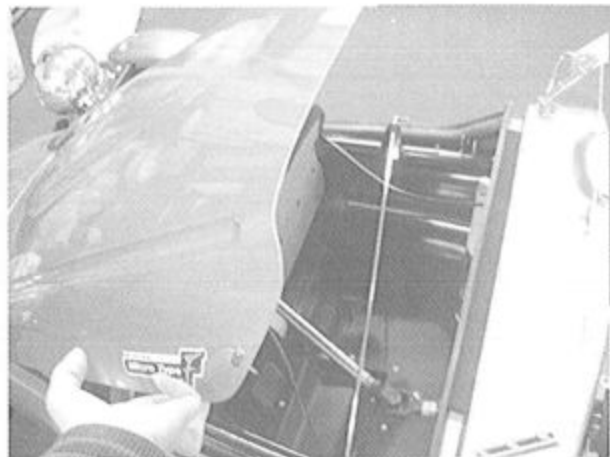
1. 左図の→部分のボタンを押し、ロックを解除します。



2. 図の位置を持って、ロックのホルダーをフックから外します。



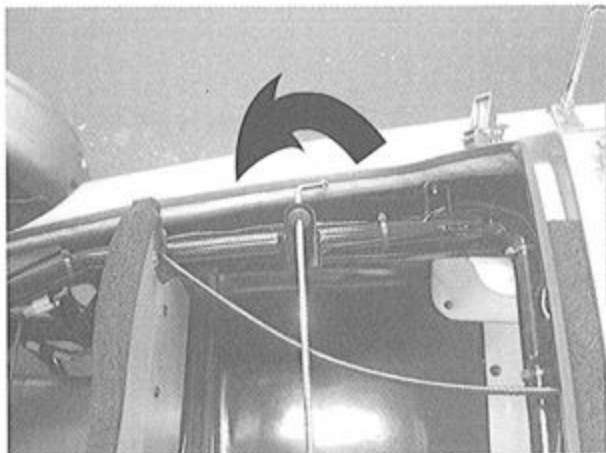
3. このような状態になります。これを両側行います。



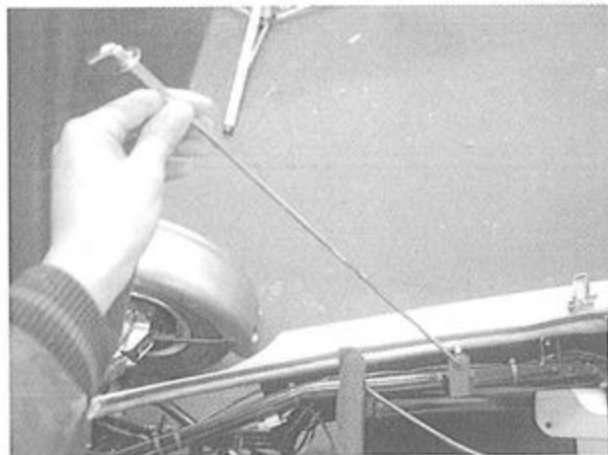
4. ボンネットをゆっくり持ち上げます。



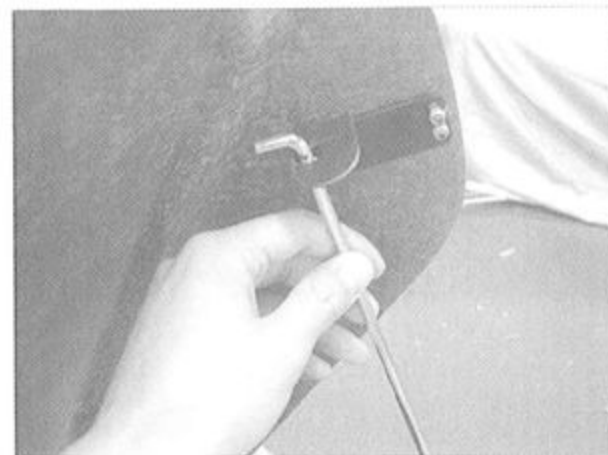
5. 図の位置にあるボンネットハンガーを、ホルダーから外します。



6. ハンガーを少し持ち上げ、約160度位回します。



7. ハンガーを持ち上げます。このとき、ハンガーの根元部にある曲がりの部分を、グロメットのところに合わせます。



8. ハンガーの先端を、ハンガーフックに引っ掛けます。



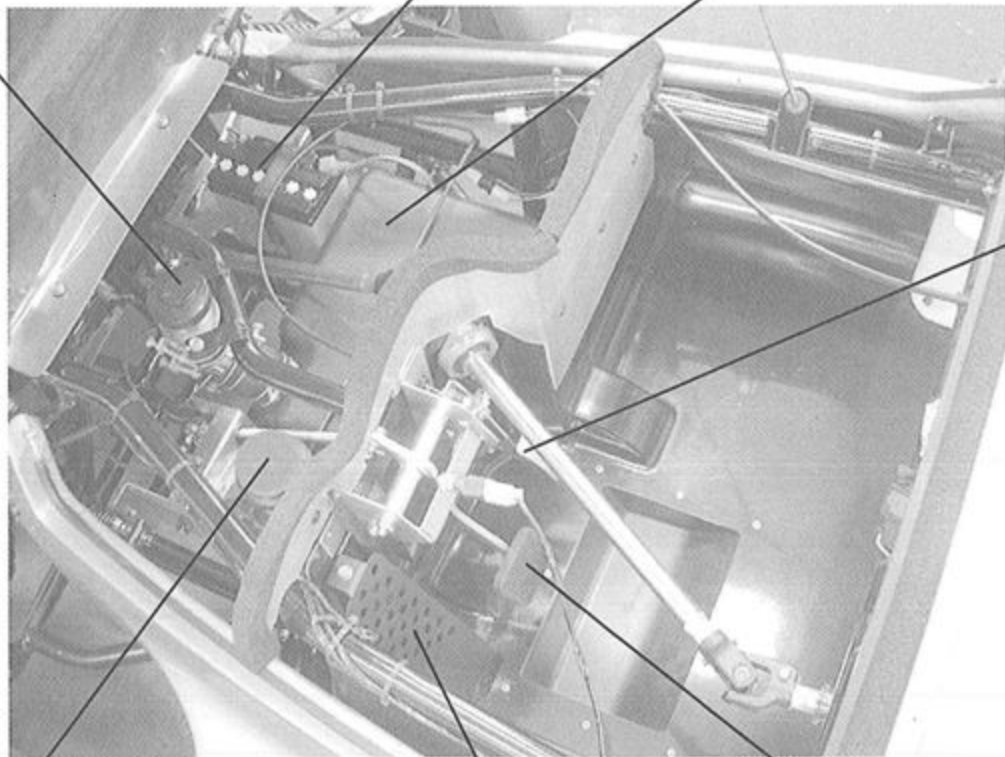
風の強い日などは、ボンネットが飛ばされたりして大変危険ですので、おやめください

## ●ボンネット内部

ガソリン給油口

バッテリー

ガソリンタンク



アクセルペダル

ブレーキオイルリザーバータンク

フットレスト

ブレーキペダル



## ● シートの取付け/取外し



1. 先ず、サイドパッドを両側取り付けます。



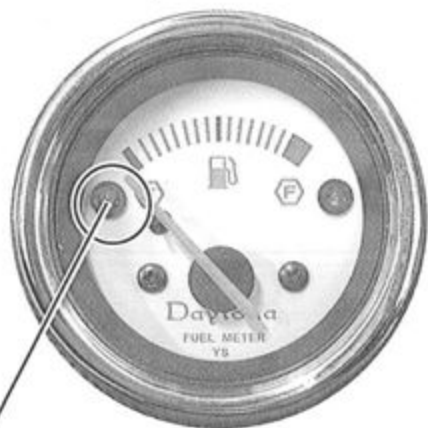
2. 次に、座面部分をサイドパッドの間にねじ込むように取付けます。このときのシートベルトの位置に注意してください。



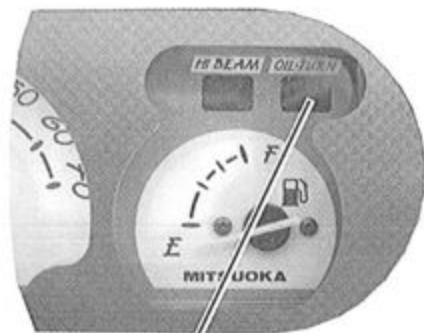
3. 最後に、背もたれ部分を取り付けます。これもサイドパッドにねじ込むように取付けます。図のようになったらOKです。取り外しはこの逆の順序で行ってください。

## 警告灯につきまして【重要】

マイクロタイプF及びK-3は、2ストロークエンジンですので、2ストローク用オイルが必須となります。残量が少なくなると、下記ランプが点灯いたします。下記のランプが点灯致しましたら、すぐさま2ストロークオイルをお入れくださいますよう宜しくお願い致します。また、お乗りになる際も必ず残量をチェックして頂きますよう重ねてお願い申し上げます。オイルタンクの位置は、この取扱説明書内に記載して御座います。



オイル残量警告灯  
(デラックスの場合)



オイル残量警告灯  
(スタンダードの場合)